



地震津波避難訓練

「KKJ」の力を

9月27日(月)に地震津波避難訓練を行いました。

2011年(平成23年)の3月11日に発生した東日本大震災では、大津波が発生して多くの人が亡くなりました。(警察庁：2021年(令和3年)3月10日時点で、死者は15899人、重軽傷者は6157人、警察に届出があった行方不明者は2526人であると発表)そんな中で岩手県釜石市内の小中学生の子どもたちの99.8%が無事でした。この事実は『釜石の奇跡』と呼ばれています。特に海からわずか500mぐらいのところにある釜石東中学校と鶴住居(うのすまい)小学校の子どもたちは、地震発生と同時にすぐに避難し、互いに声を掛け合い、高いところ高いところへ逃げて、そのとき学校にいた約570人全員が助かっています。これは、日ごろから防災教育が行われ、地震が発生したらどうするか訓練を積み重ね、自分たちで「気づき・考え・実行した結果です。

2020年(令和2年)に日本で発生した、震度1以上の地震の数は、1714回です。1日あたり4.7回になります。日本は地震が多く、世界で発生する地震の1/10が、日本や日本周辺で発生しているそうです。熊本でも2016年(平成28年)の4月14日(前震)・4月16日(本震)に大きな地震があり、多くの人の尊い命が奪われました。つまり、ここ龍ヶ岳でも大きな地震が発生する可能性があるということです。

そこで、訓練の中で、自分の命、友だちの命を守るために 3つのことをお願いしました。

1つ目は、「地震が発生するという放送がなったら、机やテーブルなどの下にかくれ、自分の身を守ること」です。2つ目は、「津波が発生するから避難するように言われたら、すぐに海の近くから離れ、より高い場所に逃げること」です。東日本大震災では、大きな津波が発生しました。その時の一番大きな津波が16.7mと言われています。龍ヶ岳小学校の高さは、15.9mなので、校舎の飲み込むほどの大きな津波だったことになります。そして、3つ目は、釜石の子どもたちと同じように避難訓練には真剣に取り組むことです。

日ごろからKKJ(気づき、考え、実行する)力をつけていってほしいと思います。

「くまもとの木を学ぶ授業」 ～椅子づくりに挑戦～

9月17日(金)に、5年生がくまもとの木を学ぶ授業を受けました。天草広域本部農林水産部の3人の皆様から、熊本の森について、木について、間伐材の利用について授業があり、その後、間伐材を使った椅子づくりをしました。全員が完成させ、家に持ち帰りました。



藤田道宣選手から

学校だより「第5号」(9月3日付)で紹介した「応援メッセージ」のお礼に、藤田道宣選手から東京パラリンピックの鉛筆をいただきました。児童と教職員全員に一人1本ずつです。大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



【東京パラリンピックの鉛筆】

学校のホームページは毎日更新しています。ご覧ください。